

## 第2章 子どもと家庭を取り巻く環境

### 第1節 人口構成の状況

#### 1 人口の推移と少子化の動向

富良野市の人口は、昭和40年の36,627人をピークに年々減少し、平成20年4月1日現在の住民基本台帳による総人口は、24,560人となっています。このうち、15歳未満の児童人口は3,354人で、総人口の13.6%となっています。

また、15歳以上64歳以下の人口は14,924人で60.8%、65歳以上の人口は6,282人で25.6%となっています。

総人口に占める15歳未満の児童人口の割合は、昭和60年から平成20年までの23年間で7ポイント減少しています。一方で、65歳以上の人口の割合は、13.7ポイント増加しており、少子高齢化が進んでいます。

さらに、世帯数と1世帯当りの人数は横ばいに推移していますが、核家族化はなお進行しています。

人口・世帯数の推移（富良野市）

（単位：人）

年次	人 口			世帯数	北海道 全国		
	総数	男	女		1世帯 当の人数	1世帯 当の人数	1世帯 当の人数
S40	36,627	18,148	18,479	8,029	4.6		
S45	30,876	14,764	16,112	8,058	3.8		
S50	29,155	13,963	15,192	8,253	3.5		
S55	28,499	13,780	14,719	8,742	3.3		
S60	27,876	13,482	14,394	8,881	3.1		
H2	26,665	12,861	13,804	8,961	3.0		
H7	26,046	12,455	13,591	9,310	2.8	2.5	2.8
H12	26,112	12,405	13,707	9,882	2.6	2.3	2.7
H13	26,057	12,447	13,610	10,440	2.5	2.3	2.6
H14	25,859	12,325	13,534	10,478	2.5	2.3	2.4
H15	25,656	12,242	13,414	10,552	2.4	2.3	2.5
H16	25,452	12,115	13,337	10,524	2.4	2.2	2.8
H17	25,231	11,986	13,245	10,581	2.4	2.2	2.6
H18	25,117	11,947	13,170	10,642	2.4	2.2	2.5
H19	24,847	11,766	13,081	10,667	2.3	2.1	2.5
H20	24,560	11,605	12,955	10,634	2.3	2.1	2.4

資料：昭和40年～平成12年は国勢調査。

平成13年～平成15年は各年10月1日現在の住民基本台帳。

平成16年以降は各年4月1日現在の住民基本台帳。

北海道1世帯当りの人数は、平成18年まで各年10月1日現在、平成19年以降は3月31日。

全国1世帯当りの人数は、平成15年まで各年3月31日。

平成16年～18年は各年10月1日。平成19年以降は3月31日。

## 第2章 子どもと家庭を取り巻く環境

### 年齢構成別人口の推移（富良野市）

（単位：人）

年次	区分	総数	幼年人口	生産人口	老齢人口
			0～14歳	15～64歳	65歳以上
S60	人口(人)	27,876	5,752	18,813	3,311
	構成比(%)		20.6	67.5	11.9
H2	人口(人)	26,665	4,963	17,828	3,861
	構成比(%)		18.6	66.9	14.5
H7	人口(人)	26,046	4,394	17,032	4,620
	構成比(%)		16.9	65.4	17.7
H12	人口(人)	26,112	4,067	16,480	5,565
	構成比(%)		15.6	63.1	21.3
H16	人口(人)	25,452	3,687	15,789	5,976
	構成比(%)		14.5	62.0	23.5
H17	人口(人)	25,231	3,595	15,631	6,005
	構成比(%)		14.2	62.0	23.8
H18	人口(人)	25,117	3,556	15,449	6,112
	構成比(%)		14.2	61.5	24.3
H19	人口(人)	24,847	3,450	13,613	7,784
	構成比(%)		13.9	54.8	31.3
H20	人口(人)	24,560	3,354	14,924	6,282
	構成比(%)		13.6	60.8	25.6

資料：昭和60年～平成12年は国勢調査。平成16年以降は各年4月1日現在の住民基本台帳。総数には年齢不詳を含む。

### 年齢構成別人口の推移【北海道】

（単位：人）

年次	区分	総数	幼年人口	生産人口	老齢人口
			0～14歳	15～64歳	65歳以上
S60	人口(人)	5,679,439	1,217,959	3,910,729	549,487
	構成比(%)		21.4	68.9	9.7
H2	人口(人)	5,643,647	1,034,251	3,924,717	674,881
	構成比(%)		18.3	69.5	12.0
H7	人口(人)	5,692,321	898,673	3,942,868	844,927
	構成比(%)		15.8	69.3	14.8
H12	人口(人)	5,683,062	792,352	3,832,902	1,031,552
	構成比(%)		13.9	67.4	18.2
H17	人口(人)	5,627,737	719,057	3,696,064	1,205,692
	構成比(%)		12.8	65.7	21.4
H20	人口(人)	5,543,556	680,549	3,547,564	1,315,443
	構成比(%)		12.3	64.0	23.7

資料：昭和60年～平成17年は国勢調査。平成20年は3月31日の住民基本台帳。  
小数点以下の処理の都合、年齢不詳の数により、各項目の和と合計が一致しない場合がある。

### 年齢構成別人口の推移（全国）

（単位：人）

年次	区分	総数	幼年人口	生産人口	老齢人口
			0～14歳	15～64歳	65歳以上
S60	人口(人)	121,048,923	26,033,218	82,506,016	12,468,343
	構成比(%)		21.5	68.2	10.3
H2	人口(人)	123,611,167	22,486,239	85,903,976	14,894,595
	構成比(%)		18.2	69.5	12.0
H7	人口(人)	125,570,246	20,013,730	87,164,721	18,260,822
	構成比(%)		15.9	69.4	14.5
H12	人口(人)	126,925,843	18,472,499	86,219,631	22,005,152
	構成比(%)		14.6	67.9	17.3
H17	人口(人)	127,767,994	17,521,234	84,092,414	25,672,005
	構成比(%)		13.7	65.8	20.1
H19	人口(人)	127,053,471	17,402,456	82,975,838	26,675,163
	構成比(%)		13.7	65.3	21.0
H20	人口(人)	127,076,183	17,205,567	81,650,386	28,220,227
	構成比(%)		13.5	64.3	22.2

資料：昭和60年～平成17年は国勢調査。平成19年と20年は3月31日の住民基本台帳。  
小数点以下の処理の都合、年齢不詳の数により、各項目の和と合計が一致しない場合がある。

## 2 出生の動向

本市の出生数は、平成11年までは260人前後で推移してきましたが、平成12年以降は微減傾向です。平成14年以降は増減を繰り返しながら200人を切り、平成19年度には184人まで減少しています。

また、本市の出生率及び合計特殊出生率は、全国、全道より高いものの、人口を長期的に維持するためには、合計特殊出生率が2.08であることが必要とされていることから、少子化の進行が進んでいます。

さらに、低体重児の出生が平成9年には、出生数の1割を超えるまでに増加しました。平成11年以降は増減を繰り返し、平成19年にはまた増加しています。

## 出生数の推移（富良野市）

（単位：人）

年次	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
出生数	250	260	268	234	231	248	183	198	197	178	184

資料：道北地域保健情報年報

## 出生率の推移

（単位：人）

年次	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
富良野市	9.7	10.1	10.4	9.0	8.9	9.7	7.5	7.8	7.9	7.1	7.5
北海道	8.6	8.6	8.2	8.2	8.2	8.2	8.0	7.8	7.4	7.6	7.5
全国	9.5	9.6	9.4	9.5	9.3	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7	8.6

資料：道北地域保健情報年報

出生率とは、ある年に生まれた出生数をその年の人口で割ったものを1000倍した人数。

## 合計特殊出生率の推移

（単位：人）

年次	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
富良野市	1.60	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	1.29	1.29	1.29	1.29	1.29
北海道	1.27	1.26	1.20	1.23	1.23	1.22	1.20	1.19	1.15	1.18	1.19
全国	1.39	1.38	1.34	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.39

※富良野市のみ5年間の平均値

資料：道北地域保健情報年報

合計特殊出生率とは、一人の女子が、その年次の年齢別出生率において、一生の間に子どもを生むとした場合の平均の子ども数。

## 低体重児(2,500g未満)出生数・出生率の推移（富良野市）

（単位：人）

年次	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
出生数	30	33	27	15	16	20	22	19	17	11	26
出生率	120.0	126.9	101.4	64.1	69.3	80.6	115.8	96.0	86.3	61.8	141.3

資料：道北地域保健情報年報

低体重児出生率は、ある年に生まれた低体重児出生数をその年の出生数で割ったものを1,000倍して算出。

### 3 産業・雇用の状況

平成17年の産業別人口は、第1次産業 22.1%、第2次産業 13.1%、第3次産業 64.2%であり、第3次産業就労者が最も多くなっています。

また、産業別就労者の比較では、第1次・2次産業就労者が減少し、第3次産業就労者が増加しています。

産業別就業者数の推移

区分	就業者数(人)					構成比(%)					
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	
総数	14,312	13,929	14,017	13,720	12,759	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
第1次	農業	4,222	3,942	3,616	3,224	2,759	29.5	28.3	25.8	23.5	21.6
	林業	154	107	76	59	59	1.1	0.8	0.5	0.4	0.5
	漁業										
	計	4,376	4,049	3,692	3,283	2,818	30.6	29.1	26.3	23.9	22.1
第2次	鉱業	70	44	53	38	34	0.5	0.3	0.4	0.3	0.3
	建設業	1,210	1,134	1,345	1,400	1,118	8.4	8.2	9.6	10.2	8.7
	製造業	873	951	892	862	525	6.1	6.8	6.4	6.3	4.1
	計	2,153	2,129	2,290	2,300	1,677	15.0	15.3	16.4	16.8	13.1
第3次	電気・ガス・水道	67	64	71	67	40	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3
	運輸・通信業	810	714	682	682	612	5.7	5.1	4.9	5.0	4.8
	卸売・小売業・飲食店	2,731	2,482	2,622	2,471	3,018	19.1	17.8	18.7	18.0	23.7
	金融・保険業	275	280	270	247	158	1.9	2.0	1.9	1.8	1.2
	不動産業	37	41	26	28	38	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3
	医療・福祉					1,323					10.4
	教育・学習支援業					571					4.5
	サービス業	3,381	3,628	3,839	4,074	1,858	23.6	26.1	27.4	29.7	14.6
	公務	477	534	520	566	568	3.3	3.8	3.7	4.1	4.4
	計	7,778	7,743	8,030	8,135	8,186	54.4	55.6	57.3	59.3	64.2
分類不能の産業	5	8	5	2	78	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	

資料：国勢調査

## 第2節 子育ての状況

## 1 保育所の状況

平成21年度における保育所は、公立の認可保育所が2ヶ所、へき地保育所3ヶ所、私立認可外保育所6ヶ所が開設されています。

## 公立・私立保育所の設置状況

平成21年9月1日現在

区分	施設名	開設年月日	定員数	入所年齢	保育時間	備考
認可	中央保育所	S23.1.2	111	6ヶ月～	7:30～18:00	
	麻町保育所	S48.3.1	90	1歳～	7:30～18:00	
へき地	山部保育所	S39.5.1	50	3歳～	8:30～15:30	4月～10月17:30まで延長保育有り
	東山保育所	S43.4.1	30	3歳～	8:30～15:30	4月～10月16時まで延長保育有り
	あおぞら保育所	H21.4	30	2歳～	8:30～15:30	4月～10月17時まで延長保育有り
私立認可外	鳥沼保育園	S42.5	20	3歳～	8:00～16:00	
	託児ルームぽぷら	H11.3	10	1ヶ月～	8:00～17:30	
	ヤクルト託児室	H5.4	6	1歳～4歳	8:30～14:00	事業所内保育施設
	富良野協会病院託児室	S40.5	25	生後100日～3歳	7:30～19:00	事業所内保育施設
	富良野西病院託児室	H3.10	20	産休明け～	24時間	事業所内保育施設
	託児ハウスきつき	H21.3	15	2ヶ月～	8:30～18:00	
	託児所こころ	H21.4	5	満1歳～3歳	8:00～18:00	
	託児ハウズドレミ	H21.9	25	3ヵ月～小学生	7:30～19:30	
富良野市みどり保育園	H21.5	5	満1歳6ヵ月～	8:00～18:00		

資料：こども未来課

## 年度別入所児童数の推移

(単位：人)

年次	施設数				入所児童者数		
	認可	へき地	私立認可外	合計	乳児(0歳児)	幼児	合計
H2	2	7	5	14	13	415	428
H7	2	6	6	14	16	343	359
H12	2	5	10	17	12	327	339
H17	2	4	9	15	14	331	345
H18	2	4	7	13	12	320	332
H19	2	4	7	13	13	282	295
H20	2	4	7	13	12	281	293
H21	2	3	6	11	14	280	294

資料：こども未来課

## 第2章 子どもと家庭を取り巻く環境

### 2 幼稚園の状況

幼稚園は4園あり、すべて私立で運営されています。

幼稚園の定員の総数は525人で、入園児童数は各年度ともに定員を満たしていない状況にあります。

#### 幼稚園の概要

平成21年4月1日現在

施設名	開設年月日	定員数	受入年齢	保育時間	預かり保育
富良野聖園幼稚園	S27.12	120	満3歳になる年の 年度始めから	8:30～13:30	17:30まで
ルンビニ幼稚園	S35.08	160		8:30～13:30	17:30まで
慈恵ひまわり幼稚園	S42.04	140		8:00～14:00	17:30まで
富良野みどり幼稚園	S45.04	105		8:30～14:00	17:30まで

資料：子ども未来課

#### 幼稚園の入園状況

(単位：人)

年度	施設数	定員	年齢別入園児童数				計
			2歳	3歳	4歳	5歳	
H2	4	525	—	122	193	183	498
H7	4	525	—	106	168	154	428
H12	4	525	—	118	184	171	473
H17	4	525	8	115	147	168	438
H18	4	525	21	133	162	152	468
H19	4	525	24	114	162	162	462
H20	4	525	5	116	135	163	419
H21	4	525	2	115	136	144	397

各年5月1日現在

資料：学校基本調査

### 3 小学校の状況

小学校9校、中学校7校の学校が設置されています。在籍する小学校児童は、この4年間で1,500人から1,426人と年々減少しています。

#### 小学校児童数の推移

各年5月1日現在

(単位：人)

年度	学校数	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
S60	13	108	382	375	358	419	452	454	2,440
H2	12	93	339	359	328	342	324	365	2,057
H7	11	94	302	317	305	314	309	320	1,867
H12	11	87	284	272	281	266	269	280	1,652
H17	11	86	260	225	257	251	247	260	1,500
H18	11	86	239	259	224	257	255	246	1,480
H19	10	90	226	234	256	224	252	252	1,444
H20	9	83	223	230	241	251	226	248	1,419
H21	9	87	245	230	228	245	250	228	1,426

資料：学校基本調査

## 4 児童厚生施設の状況

児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的として児童館2館・児童センター3館を設置しています。

各館に児童厚生員を配置し指導を行っており、さらに児童センターでは児童の体力増進を図るために体力増進指導員による指導も行っています。

開館時間は、月曜日から金曜日までは午後1時～午後5時、土曜日・学校長期休業日（夏・冬・春休み）は午前10時～午後5時までとなっています。

## 児童厚生施設の概況、利用人数の推移

施設名	設置年月日	区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
北の峰児童館	S43.2.8	利用人数(人)	7,751	8,899	10,369	12,151	12,711	12,510	10,560	12,749	13,478
		開館日数(日)	284	284	288	290	288	290	288	289	295
		1日平均利用人数	27.3	31.3	36.0	41.9	44.1	43.1	36.7	44.1	45.7
緑町児童館	S52.12.1	利用人数(人)	10,155	11,991	10,262	11,376	11,686	12,228	11,527	14,899	11,525
		開館日数(日)	284	284	287	290	288	289	287	289	295
		1日平均利用人数	35.8	42.2	35.8	39.2	40.6	42.3	40.2	51.6	39.1
麻町児童センター	S54.5.1	利用人数(人)	11,417	10,715	11,885	11,110	10,216	11,633	11,912	12,839	13,955
		開館日数(日)	279	284	276	287	286	288	288	289	295
		1日平均利用人数	40.9	37.7	43.1	38.7	35.7	40.4	41.4	44.4	47.3
桂木児童センター	S56.4.1	利用人数(人)	10,820	8,675	11,593	10,455	11,518	13,020	11,465	13,347	13,246
		開館日数(日)	280	280	278	288	288	290	287	289	293
		1日平均利用人数	38.6	31.0	41.7	36.3	40.0	44.9	39.9	46.2	45.2
東部児童センター	S59.4.1	利用人数(人)	6,718	7,978	9,023	9,119	10,511	10,440	11,208	11,397	11,192
		開館日数(日)	246	285	276	286	287	290	285	289	295
		1日平均利用人数	27.3	28.0	32.7	31.9	36.6	36.0	39.3	39.4	37.9

資料：こども未来課

## 5 学童保育センターの状況

就労等により昼間保護者のいない家庭の小学校1年生から3年生までを対象に学童保育センターを開設しています。

開館時間は、月曜日から金曜日は学校終了後から午後6時まで、学校休業日(土曜日、学校長期休業日、臨時休校等)は午前9時から午後6時までとなっています。

また、平成20年度から学童保育センターの利用料を有料化しています。

学童保育センターの概況、利用人数

施設名	設置年月日	区分	H16	H17	H18	H19	H20
北の峰学童保育センター	H13.4.1	利用人数(人)	2,556	2,676	2,500	3,988	4,179
		開館日数(日)	288	290	288	289	295
		登録人数(人)	16	18	19	24	22
緑町学童保育センター	H10.4.1	利用人数(人)	4,849	6,155	6,717	9,604	8,284
		開館日数(日)	288	289	287	289	295
		登録人数(人)	30	39	48	61	53
麻町学童保育センター	S54.7.1	利用人数(人)	5,242	7,798	9,145	9,695	9,347
		開館日数(日)	286	288	288	289	295
		登録人数(人)	27	42	51	55	57
桂木学童保育センター	S62.4.1	利用人数(人)	6,060	7,686	7,059	7,951	8,266
		開館日数(日)	288	290	287	289	293
		登録人数(人)	34	41	47	52	51
東部学童保育センター	H13.4.1	利用人数(人)	1,721	2,128	2,798	2,578	2,823
		開館日数(日)	287	290	285	289	295
		登録人数(人)	16	18	19	24	22

資料：こども未来課

学童保育センターの利用料(H20～)

施設名	H16	H17	H18	H19	H20
北の峰学童保育センター					309,000
緑町学童保育センター					826,870
麻町学童保育センター					734,250
桂木学童保育センター					732,750
東部学童保育センター					270,370
合計					2,873,240

資料：こども未来課



## 6 幼児クラブの状況

保育所や幼稚園に通園していない、主に0歳から2歳までの児とその保護者を対象に、育児に対する不安やストレスの解消、同年齢児と母親との交流を図ることを目的とした自主的なサークルです。現在、北の峰・麻町・桂木・山部・東山の5クラブで、週1回の午前中2時間程度、親子が一緒になって遊んだり育児についてたり情報交換をしています。

## 7 子育て支援センターの状況

育児で困っていることや心配なことを相談したり、同年齢の子どもと遊ばせたり一緒に子育てする仲間が欲しい等の方のために、気軽に集まって育児の相談や情報交換のできる場として平成15年4月より「子育て支援センター」を、保健センター内で開設しています。

### 子育て支援センターの主な事業

- ・子育て相談～電話、来所、メール、広場、サロン、クラブでの相談
- ・ふれあい広場～保護者の方と同伴で、火・水・金曜日の登録した曜日に親子で参加
- ・ひよっこサロン～月曜日の午前中で保護者の方と同伴で自由参加
- ・子育てサロン～月・水曜日午後から保護者の方と同伴で自由参加
- ・ふらのっこクラブ～第1・3木曜日の午前中でスポーツセンターにおいて保護者の方と同伴で自由参加
- ・幼児クラブ支援～月一回、山部・東山幼児クラブに子育てサークル支援
- ・子育て講座～親子で楽しめる体験講座
- ・子育て情報の提供～育児情報提供や絵本の貸し出し
- ・子育てガイドブック、ガイドマップの作成～市内の子育てに関する情報を1冊にまとめて作成、配布

### 子育て支援センターの利用状況

	総利用者数(人)				相談件数(件)			合計
	ふれあい広場	ひよっこサロン	子育てサロン	ふらのっこクラブ	電話	来所・メール	広場・サロン・ふらのっこクラブ	
H15年度	4,652				55	1	132	188
H16年度	9,664		3,028		43	2	142	187
H17年度	8,383		2,933		51	2	110	163
H18年度	6,965	1,374	1,514		69	5	61	135
H19年度	6,918	1,847	1,019	201	86	3	39	128
H20年度	5,126	1,626	1,606	245	61	3	67	131

資料：こども未来課

### 8 子育て支援短期利用事業の状況

児童を養育している家庭の保護者が、疾病等の社会的事由や仕事の事由等によって、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合等に、児童養護施設において、原則7日以内の養育事業で児童養護施設「富良野国の子寮」に委託し事業に取り組んでいます。

#### 子育て支援短期利用

年度	利用人数	利用日数
H16年度	0	0
H17年度	1	2
H18年度	0	0
H19年度	2	4
H20年度	4	5

資料：こども未来課

## 9 早期療育事業の状況

心身の発達に遅れや心配のある子どもに対して、相談や個別的、集団的な療育を行い、その発達をすすめるための援助をし、保護者の方々の子育てに対する支援をする施設として平成3年度より「富良野市母子通園センター」(通称 なかよし教室)を開設しています。

富良野市、南富良野町、占冠村が第1次療育圏として道より指定を受け、3市町村の住民が利用しています。

平成15年4月からは、児童デイサービス施設として支援費の事業所認可を受け実施していますが、指導・支援内容は従来からの事業を継続して実施しています。

なお、平成17年4月より「富良野市母子通園センター」の名称を「富良野市こども通園センター」に変更いたしました。

年度別利用状況

年度	在籍児童数				延べ利用 人	開設日数	1日当りの 利用人
	計	富良野市	南富良野町	占冠村			
H17	48	42	3	3	1,408	244	5.8
H18	62	56	2	4	1,746	244	7.2
H19	63	57	3	3	1,766	243	7.3
H20	66	63	2	1	1,818	242	7.5
H21	68	65	1	2			

H21年度は1月現在

資料：こども未来課

歳児別利用状況

(単位：人)

年度	区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	学齢児	合計
H16	通級児	1	2	9	13	9	15	0	49
	療育相談	1	3	6	3	3	2	0	18
	内経過観察	0	0	0	3	4	4	0	11
H17	通級児	3	5	8	10	14	8	0	48
	療育相談	1	6	7	6	4	2	0	26
	内経過観察	0	1	0	0	4	4	1	10
H18	通級児	2	4	14	12	14	16	0	62
	療育相談	1	4	12	8	6	7	0	38
	内経過観察	0	0	1	0	1	1	0	3
H19	通級児	0	5	11	19	13	15	0	63
	療育相談	0	4	8	11	3	9	1	36
	内経過観察	0	1	1	4	2	5	0	13
H20	通級児	0	2	13	17	19	15	0	66
	療育相談	0	3	12	10	10	2	0	37
	内経過観察	0	1	4	4	4	1	0	14
H21	通級児	1	3	5	18	19	22	0	68
	療育相談	1	1	6	9	8	8	0	33
	内経過観察	0	0	1	3	3	1	0	8

資料：こども未来課

## 10 家庭児童相談室

家庭における人間関係の健全化及び子育ての適正化等、児童福祉の向上を図るために家庭児童相談室を開設しています。

家庭児童相談員1名を配置し、児童虐待や子どもに対するしつけ、親子関係、不登校などについての相談業務を行い、必要に応じて児童相談所、関係機関などとの連携を図っています。

家庭児童相談室の相談状況

(単位：件)

年度	性格・生活習慣等	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	障がい	その他	合計
			人間関係	登校拒否	その他		虐待	その他				
H 2	0	44	1	125	0	0	11	15	10	0	206	
H 7	30	14	29	0	0	8	11	9	126	1	228	
H12	10	57	2	19	0	15	60	19	54	70	306	
H16	47	134	6	38	5	2	19	44	96	195	34	620
H17	33	126	4	6	0	0	43	44	49	129	25	459
H18	111	81	7	13	0	0	28	64	28	191	25	548
H19	106	92	0	12	0	0	169	57	24	186	25	671
H20	92	54	0	56	0	15	132	42	50	108	23	572

資料：こども未来課

## 11 母子世帯の相談状況

母子自立支援員1名を配置し、母子寡婦家庭に対し暮らしや子どものことなど日常生活全般に関わる悩みや母子寡婦福祉資金の貸付についての相談業務を行うなど、母子及び寡婦家庭の福祉の増進に努めています。

母子自立支援員相談状況

(単位：件)

年度		生活一般	児童	生活援護	計	母子世帯数
H 2	相談実件数	116	43	241	400	236
	相談延件数	138	56	358	552	
H 7	相談実件数	112	74	199	385	233
	相談延件数	140	91	293	524	
H12	相談実件数	141	57	257	455	230
	相談延件数	162	65	356	583	
H16	相談実件数	408	195	355	958	275
	相談延件数	628	341	477	1,446	
H17	相談実件数	303	182	326	811	273
	相談延件数	454	266	396	1,116	
H18	相談実件数	315	187	389	891	274
	相談延件数	412	274	536	1,222	
H19	相談実件数	347	185	359	891	276
	相談延件数	437	261	476	1,174	
H20	相談実件数	342	181	389	912	286
	相談延件数	438	258	498	1,194	

資料：こども未来課

## 12 母子家庭等奉仕員派遣事業の状況

母子家庭等が自立促進に必要な事由や疾病等の社会的な事由、若しくは生活環境の激変による日常生活への支障等により一時的に介護、保育等のサービスが必要な世帯に対し、奉仕員を派遣し、母子家庭等の福祉を図るため、平成14年度より「富良野市白菊会」に派遣事業を委託しています。

母子家庭等奉仕員派遣事業の利用状況

年度	利用世帯(件)	派遣回数(回)
H14	1	5
H15	0	0
H16	0	0
H17	1	1
H18	1	5
H19	1	10
H20	1	5

資料：こども未来課

## 13 青少年団体の状況

地域社会において子どもの活動は、家庭や学校とは異なる集団であり、異年齢児による活動、交流など青少年の健全育成に重要な役割を担っています。

子ども会40団体、ボーイスカウト1団体、スポーツ少年団27団体が活動をしています。

青少年教育団体の状況

(単位：件・人)

年度	子ども会		ボーイスカウト		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
H12	40	1,435	1	42	18	622
H15	32	1,100	1	34	23	801
H21	40	854	1	7	27	1,070

平成21年9月1日現在

資料：社会教育課、スポーツ課

子ども会加入の状況

(単位：人・%)

地区名	小学生				中学生			
	加入	未加入	計	加入率	加入	未加入	計	加入率
富良野	402	803	1,205	33.4	158	449	607	26.0
布部	10	1	11	90.9	11		11	100.0
麓郷	21		21	100.0	13		13	100.0
布礼別	19		19	100.0	17		17	100.0
山部	74	33	107	69.2	55	12	67	82.1
東山	52		52	100.0	22		22	100.0
計	578	837	1,415	40.8	276	461	737	37.4

平成21年9月1日現在

資料：社会教育課

## 14 民生児童委員の状況

富良野市民生・児童委員は、富良野地区 40 名、山部地区 6 名、東山地区 4 名の計 50 名で、市民の様々な分野の相談に応じています。主任児童委員は、富良野地区・山部地区・東山地区に各 1 名が配置されており、主に児童の非行、養護、健全育成の相談、指導を行っています。

## 15 公園・緑地の状況

公園や緑地は、市民に憩いとふれあいの場を提供し、安全な遊び場としての機能を有するとともに、快適な環境づくりや災害時の避難場所としての役割も担う都市施設です。

都市公園は、朝日ヶ丘総合公園など 68 箇所、その他公園は、山部自然公園太陽の里など 13 箇所です。総面積 72.3 ha となっています。

公園・緑地の状況 (単位：箇所・ha)

区分	都市公園		その他公園	
	箇所	面積	箇所	面積
街区公園	44	6.6		
近隣公園	1	1.6		
地区公園	1	3.6		
総合公園	1	10.5		
風致公園	1	9.6		
緑地	19	12.6		
広場公園	1	0.5		
計	68	45.2	13	27.3

平成 21 年 12 月 31 日現在

資料：都市建築課

## 第3節 母子保健事業の状況

### 1 健康診査の状況

#### 1) 妊婦健康診査

妊婦健康診査については、平成19年度までは、妊婦前期・後期各1回、道内医療機関に委託して妊婦一般健康診査を実施していました。出産予定日に満35歳以上になる妊婦には、超音波健康診査も実施していました。(平成19年度まで)

平成20年度からは妊婦健康診査を年5回実施し、超音波の検査はなくなりました。母子手帳交付数の減少に伴い、妊婦健康診査の受診数も減少しています。

妊婦健康診査受診数の推移

(単位：人)

年度	H16	H17	H18	H19	年度	H20
前期	183	190	175	196	1回	172
後期	179	158	166	176	2回	163
超音波	24	17	22	21	3回	163
					4回	159
					5回	155

※H20年度は5回実施。超音波検査はなくなった。  
(H21年度は14回実施)

資料：保健医療課

#### 2) 乳幼児健康診査

乳幼児の疾病の早期発見、早期治療、発育の向上を図るために発達段階に合わせた健康診査(4ヵ月、7ヵ月、1歳6ヵ月、3歳児健診)を実施しており、受診率は概ね95%前後で推移しています。

乳幼児健康診査の実施状況

(単位：人)

年度		H16	H17	H18	H19	H20
4ヶ月児健康診査	対象者	207	194	195	180	196
	受診者	197	189	188	179	188
	受診率	95.2%	97.4%	96.4%	99.4%	95.9%
7ヶ月児健康診査	対象者	212	198	195	181	199
	受診者	200	190	191	180	194
	受診率	94.3%	96.0%	97.9%	99.4%	97.5%
1歳6ヶ月児健康診査	対象者	219	208	210	183	194
	受診者	211	197	201	177	187
	受診率	96.3%	94.7%	95.7%	96.7%	96.4%
3歳児健康診査	対象者	251	246	209	199	197
	受診者	241	232	197	194	183
	受診率	96.0%	94.3%	94.3%	97.5%	92.9%

資料：保健医療課

## 2 健康相談の状況

### 1) 母性健康相談

母子手帳交付時の保健指導や妊娠・出産に関する相談を実施しています。母子手帳交付時の保健指導は年々減少しています。

母性健康相談の実施状況

(単位：件)

年度	H16	H17	H18	H19	H20
母子手帳交付時保健指導	190	199	178	209	171
妊婦・産婦・母性相談	6	17	2	9	7
電話相談(再掲)	17	29	1	2	7

資料：保健医療課

### 2) 乳幼児健康相談

健康診査等により経過観察の必要な乳幼児や育児不安を持つ母親に対して、乳幼児健康相談を実施しています。1歳・2歳になった児に対する健康相談も実施しています。相談件数は来所相談が400件前後で推移していますが、電話相談は平成17年をピークに100件台と半減しています。

乳幼児健康相談の実施状況

(単位：件)

年度	H16	H17	H18	H19	H20
1歳相談	132	139	127	127	122
2歳相談	110	93	110	87	106
その他相談	227	244	253	222	214
電話相談	223	299	171	120	127

資料：保健医療課



### 3 訪問指導の状況

福祉、医療等の関係機関と連携を図りながら、新生児（第1子のみ）・未熟児、産婦、乳幼児健診未受診児・経過観察児などに対して家庭訪問指導を実施しています。

訪問指導の実施状況

（単位：件）

年度	H16	H17	H18	H19	H20
産婦	113	106	100	121	103
新生児・未熟児	114	106	93	113	97
乳幼児健診未受診児	0	2	1	2	6
乳幼児健診経過観察児	42	24	11	14	15
その他	0	3	1	11	2

資料：保健医療課

### 4 育児支援教室の状況

初めて育児をする母親に対して平成12年度から「新米ママの交流会」を実施し、対象者数は100人前後となっています。

また、1歳6ヵ月児健診で育児に悩みを持つ親子や育児支援が必要と思われる親子に対して、平成10年度から「あそびの教室」を実施し増加傾向にあります。

新米ママの交流会の実施状況

（単位：組）

年度	H16	H17	H18	H19	H20
対象数	100	101	96	103	91
参加数	55	58	59	68	60
参加率	55.0%	57.4%	61.4%	66.0%	65.9%

資料：保健医療課

あそびの教室の実施状況

年度	H16	H17	H18	H19	H20
参加数	18	18	23	28	27

資料：保健医療課

## 第4節 各種手当・助成制度の状況

### 1 助産施設利用状況

妊産婦が、保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由等で入院して出産することができないときは、市が指定した医療法人北海道社会事業協会富良野病院で助産を受けることができます。

助産施設利用状況

年度	H16	H17	H18	H19	H20
件数(件)	1	4	1	4	1
扶助費(千円)	268	632	78	1,141	129

資料：こども未来課

### 2 乳幼児医療助成の状況

乳幼児医療給付制度により、乳幼児の医療費について、保護者からの申請により医療証が交付され、平成16年10月から6歳の就学前まで通院と6歳に達する月の末日までは入院に係る健康保険給付を受けた後の自己負担分が助成されるようになりました。一方、3歳以上の子どもを持つ課税世帯は一割自己負担となっています。

さらに、平成20年10月から小学生の入院も助成対象となりましたが、課税世帯では一割自己負担となっています。

乳幼児医療助成状況

年度	H16	H17	H18	H19	H20
受給者数(人)	1,223	1,389	1,355	1,286	1,263
受給件数(件)	17,697	24,416	26,009	23,299	23,432
助成額(千円)	43,635	50,185	53,834	49,368	39,681

資料：市民課

### 3 児童手当制度の状況

児童が小学校を修了するまで、養育者に、家庭における生活の安定と子どもの健全な育成を目的として支給される手当です。

支給額は、児童2人目までが月額5,000円、3人目以降は月額10,000円です。平成19年4月から、3歳未満一律月額10,000円。3歳以上2人目まで5,000円、3人目以降10,000円になりました。

また、平成22年度からは名称が「子ども手当制度」に変更される予定です。

児童手当支給状況

年度	H16	H17	H18	H19	H20
延児童数(人)	18,312	18,747	24,711	25,265	24,817
支給手当額(千円)	107,075	108,170	141,575	163,480	164,675

資料：市民課

### 4 児童扶養手当制度の状況

父母の離婚等により、父と生計を同じくしていない子どもを育てている母、又は養育者に支給される手当です。手当を受けることができるのは、18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある、又は20歳未満で一定の障がいを持っている児童を養育している場合に限られます。

支給額は、所得額により全部支給と一部支給に分かれ、対象児童1人につき月額で全部支給の場合は41,720円、一部支給の場合は41,710円から9,850円です。児童が2人の場合は5,000円の加算、3人目以降はさらに3,000円ずつ加算されます。

児童扶養手当受給状況

年度	H16	H17	H18	H19	H20
受給者件数(件)	181	182	185	188	204

資料：こども未来課

## 5 特別児童扶養手当制度の状況

精神又は身体に一定程度の障がいを持つ20歳未満の子どもの養育者に支給される手当です。ただし、子どもが施設に入所している場合や障がいを支給事由とする公的年金を受給できる場合には支給されません。

支給額は、対象児童1人につき月額で1級50,750円、2級33,800円で、対象児童の等級に応じて支給されます。

特別児童扶養手当受給状況

年度	H16	H17	H18	H19	H20
受給者件数(件)	51	54	61	60	62

資料：福祉課

## 6 障がい児福祉手当制度の状況

日常生活において常時介護が必要とされる重度障がい児本人に支給される手当です。ただし、障がいを事由とする年金等を受けたとき、又は肢体不自由施設等に入所しているときには支給されません。支給額は、対象児童1人につき月額14,380円です。

障がい児福祉手当受給状況

年度	H16	H17	H18	H19	H20
受給者件数(件)	12	12	14	14	14

資料：福祉課